

# 令和2年度柏原市立歴史資料館等運営協議会

## 会 議 録

日 時	令和2年7月21日（火） 午後2時～4時05分
場 所	柏原市立歴史資料館研修室

## 会議出席者

### 委員

櫻澤 誠、塚口義信、綿貫友子、橋本早知子、渡辺宏治

中野 武、山川 薫

### 事務局

福島 潔（教育部長）、寺川 款（教育部次長）、石田成年（文化財課長）、安村俊史（歴史資料館館長）、山根航（文化財課主査・歴史資料館学芸員）、三原大史（歴史資料館学芸員）

## 1. 開会（14時）

進行・山根

## 2. 福島教育部長あいさつ

教育長あいさつ代読

## 3. 委嘱状交付

## 4. 委員紹介

## 5. 事務局紹介

## 6. 議事

### ①会長・副会長の選出について

会長・副会長は委員の互選によって定められているが、自薦・他薦ともなかったため、事務局から会長に塚口委員、副会長に綿貫委員を提案し、委員全員一致で決定。

[議事は会長が進められているため、以下塚口会長が議事進行]

### ②平成31年度（令和元年度）事業報告

(1) 歴史資料館関係 安村報告

(2) 横穴管理運営関係 石田報告

[資料参照]

### 【質疑】

○横穴の保存状況について

委員：現在の横穴の保存状況はどうか？

事務局：線刻壁画および横穴内部の劣化はみられないが、土砂流出等による開口部周辺の風化がみられる。

○記念行事について

委員：令和4年に高井田横穴が史跡に指定されて100年となるが、記念イベントなどを考えているか？

事務局：松岳山古墳も史跡指定100年、鳥坂寺跡は10年になるので、それも合わせて企画展を計画している。内容については今後考えていきたい。

### ③令和2年度事業計画

(1) 歴史資料館関係 安村報告

(2) 横穴管理運営関係 石田報告

[資料参照]

#### 【質疑】

##### ○新型コロナウイルス対策関連に伴う見学小学校への対応について

委員：新型コロナウイルス感染防止に伴って、秋・冬の企画展で来館する小学校の見学対応をどのように考えているか。

事務局：秋季企画展の解説や展示室見学については、1回100名までとするなど、密になることがないように進めていきたい。冬の対応については、今後の状況を見ながら判断したい。

##### ○広報方法について

委員：さまざまな事業を展開されているが、広報が弱いのではないか。ローカルテレビなどももう少し方法を考えられないか。

事務局：確かにテレビや新聞で紹介されたときの反響は大きいものがある。紹介していただけるように案内はしているが、なかなか取材には至らない。ただ、Jコムなどは積極的に取り上げてくれている。日本遺産認定などもあるので、今後さらに工夫していきたい。

##### ○学校の利用について

委員：小・中学校への働きかけが少ないのではないか。もっと積極的に働きかけて、来館校を増やすように努力してほしい。

事務局：秋季・冬季企画展では多数の小学校に利用いただいているが、そのほかの利用は少ない。学校への働きかけや出前授業なども実施しているが、学校行事などとの関係から利用は多くない。とりわけ中学校の利用はほとんどない。今後も働きかけは続けていく。

委員：関西福祉科学大学高校では、毎年勾玉作りをしていて人気である。夏休みの子供向け講座などを実施してはどうか。

事務局：以前実施していたが、参加者が少なくなったために終了した経緯がある。その後も子供向け行事はさまざま取り組んできたが、参加者の減少などから現在は実施していない。しばらく実施していないので、何かできないか検討したい。

##### ○大県郡誕生1,300年に伴う記念事業について

委員：今年は大県郡の成立（720年）から1,300年という節目となるが、何か記念事業などは考えていないのか。

事務局：資料館として特別な事業は考えていないが、秘書広報課や産業振興課などに働きかけている。とりあえず、市の広報紙では11月号で特集を組むことになっている。

##### ○日本遺産のタイトルについて

委員：龍田古道の日本遺産のタイトル「もうすべらせない！！」に違和感がある。どのようにして、このタイトルになったのか。

事務局：龍田古道を日本遺産に申請するべく、タイトルも含めて準備していたが、申請直前になって、インパクトのある亀の瀬の地すべりを中心に変更したいという方針が出され、このようなタイトルになった。本市文化財としては、あくまでも龍田古道として認定をめ

ざすべきだと主張したが、受け入れてもらえなかった。

#### ○新型コロナウイルス対策に伴う講演会の実施について

委員：講演会は、整理券を配布して実施するということだが、定員を超えた場合はどうするのか。整理券以外の方法は考えられないのか。

事務局：文化財課内でさまざまな議論を経た結果、整理券配付という方法になった。開始直前の受け付けでは密になると考えたため、開館時間の9時半から整理券を配付することにした。定員は、研修室に椅子のみを設置し、間隔を1m以上確保すると70名まで収容可能であることから70名とした。収容可能人数が約150名であり、その半分ということからも70名が妥当と判断した。定員をオーバーした場合は、20名はホールで聴講していただくと考えているが、それ以上の方はお断りせざるを得ない。

委員：申込制はとれないのか。

事務局：ポスター作成や広報紙掲載への関係から、今回は事前申込制はできなかった。今夏の状況を見て、事前申込制の導入についても検討していくことにしている。

委員：講演を実施しているところでは、定員の三分の一、四分の一というところもある。もう少し慎重に考えることも必要ではないか。

事務局：収容可能人数の半分ということで、国や府の方針とも齟齬はないと考えている。

委員：体温測定や連絡先の記入などは実施していないのか。

事務局：体温は自身で判断していただいている。連絡先については、追跡システムの利用や受付で発症時の連絡希望者の記入を呼びかけている。基本的な対応は、市の他施設の対応に合わせている。

委員：オンラインでの公開を考えてはどうか。

事務局：技術的な問題、利用者の問題などから現状では考えていないが、今後検討が必要になるかもしれない。

委員：とにかく、十分な安全対策のもとに実施していただきたい。

#### ④その他

##### ○企画展・特集展示の取り組みについて

委員：柏原市には、古代寺院や古道など注目すべき歴史が多数ある。それらを展示で積極的に取り上げてもらいたい。

事務局：これまでもさまざまなテーマで展示を実施してきたが、新たなテーマ案などがあれば、ぜひ提案いただきたい。

議長：マイクを事務局にお返しする。

#### 7. 閉会

(終了 16時 05分)